

第1章

概 要

1-1 沿革

大正 14年 4月	福岡県福岡工業試験部、久留米工業試験部、福島工業試験部発足
昭和 2年 4月	試験部を試験場に改称
昭和 13年 8月	福岡県金属工業試験場設立(昭和 56年 統合により廃庁)
昭和 23年 8月	久留米工業試験場を国へ移管
昭和 29年 6月	福岡県直方鉱業試験場設立(昭和 56年 統合により廃庁)
昭和 29年 11月	福岡県福岡工業試験場久留米分場設置(昭和 53年 統合により廃庁)
昭和 32年 3月	福岡県福島工業試験場大川分場設置(昭和 37年 大川木工指導所に改称)
昭和 40年 4月	福岡県福島工業試験場大川木工指導所を福岡県大川木工指導所に改称
昭和 53年 5月	福岡工業試験場に久留米分場を統合し、福岡工業試験場を筑紫野市に設置
昭和 56年 6月	金属工業試験場と直方鉱業試験場を統合し、福岡県北九州工業試験場設立
昭和 57年 4月	福岡県大川木工指導所を福岡県大川工業試験場に改称
平成 2年 4月	4試験場を統合し、4研究所体制の福岡県工業技術センター設立、4試験場を改称(化学繊維研究所、材料開発研究所、インテリア研究所、機械電子研究所)
平成 7年 4月	材料開発研究所を廃庁し、福岡県工業技術センター生物食品研究所設立

1-2 組織と業務



1-3 令和3年度の方針

長期的な新型コロナウイルス感染拡大により、経済は深刻な打撃を受けるとともに、デジタル化や新しい生活様式への対応など、社会そのものも急激に変化してきました。

このような中、県内ものづくり企業が成長発展していくには、製品開発力や加工技術の向上、生産性の向上といった、ものづくりの基盤となる力の強化とともに、急激に変化する社会や市場への対応力の強化がより一層重要になってきます。

この状況を踏まえ、工業技術センターは、デジタル化、ポストコロナへの対応設備導入、関係機関とも密接な連携を行いながら、「県内中小企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、「自立した開発型中小企業の育成」に向けて活動を進めています。

○研究開発

市場や企業のニーズを踏まえ、新技術の開発から企業での事業化までの一連の流れの中における研究開発を、効率的かつ組織的に推進します。

○人材育成

ものづくり現場の基盤技術を担う人材を育成するため、関係支援機関や大学、業界団体等と連携して、セミナーや実習等の企画、カリキュラムや教材作成、研修の実施などの取り組みを継続的かつ主体的に行います。

○技術相談

企業が抱える課題や求めるニーズをしっかりと把握して、研究開発事業や試験分析などへの展開を含めたきめ細やかな支援に努めます。

○情報収集・提供

企業や産業界の状況、ニーズを的確に把握するため、企業現場への訪問を積極的に行い、情報収集を実施します。また、工業技術センターや関係機関が持つ支援機能や研究成果等を積極的に情報発信します。さらに、補助金情報などをタイムリーに提供し、企業の活用を促します。

○技術交流

業界との技術研究会活動を推進し、face to face の交流促進や情報把握、研究開発プロジェクト、県内の企業人材育成等への展開を図ることで、産業界の発展を支援・促進します。

○試験分析（依頼試験・設備使用）

新たな製品化、事業化につながる依頼試験や設備使用においては、その中から課題を把握し、公設のみならず民間を含めた他試験機関の紹介や連携を進めながら、解決に向けた支援を柔軟かつ積極的に行います。

○コーディネート

工業技術センターや関係機関が持つ支援機能なども活用し、これら機関と連携・協力して、それぞれのステージにあった総合的支援を行います。

また、新たに機械電子研究所内に「デジタル化実証支援ラボ」を開設し、ものづくり企業のデジタル化の支援に向けた体制強化を進めています。

1-4 職員構成

区分	所属	企画管理部	化学繊維 研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(人)
事務職員		5	0	3	1	4	13
技術職員		10	16	18	10	32	86
労務職員		1	2	1	1	5	10
合計(人)		16	18	22	12	41	109

所長、副所長は企画管理部に含む。

1-5 土地及び建物

項目	所属	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(m ²)
土地(m ²)		12,687.57	12,698.10	6,016.12	9,104.00	40,505.79
建物(m ²)		5,517.74	5,729.31	2,342.00	6,456.59	20,045.64

1-6 支出決算額

科目	所属	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(円)
人件費		319,755,834	182,651,272	102,595,435	355,672,676	960,675,217
研究所費	管理費	17,020,728	40,212,305	6,942,519	52,364,613	116,540,165
	研究費	33,313,934	27,037,782	14,696,945	59,531,750	134,580,411
	依頼業務費	2,747,957	468,840	960,052	2,486,260	6,663,109
	備品費	112,781,350	19,768,100	77,000	153,005,765	285,632,215
	小計	165,863,969	87,487,027	22,676,516	267,388,388	543,415,900
合計		485,619,803	270,138,299	125,271,951	623,061,064	1,504,091,117

1-7 工業所有権

1-7-1 令和3年度に登録された特許（7件）

発明の名称	特許番号	登録日	備考
照明装置及び照明方法	特許第 6868256 号	R3.04.14	共同出願
警報装置及び警報システム	特許第 6868254 号	R3.04.14	共同出願
木質材料処理剤組成物、木質材料の処理方法及びそれにより処理された木質材料	特許第 6868254 号	R3.06.07	共同出願
高圧ガス用シール部に用いられるためのゴム組成物および高圧ガス用シール部材(韓国)	10-2326698	R3.11.10	共同出願
噴射ノズルおよび噴射方法	特許第 6990848 号	R3.12.09	県単独
新規な転写金型用入れ子の製造方法	特許第 7043036 号	R4.03.18	共同出願
シリコーン製品(実用新案)	登録第 3236937 号	R4.3.23	共同出願

1-7-2 令和3年度に公開された特許（2件）

発明の名称	公開番号	公開日	備考
木材検査装置	特開 2021-67481	R3.04.30	共同出願
乾燥椎茸の製造方法及び機能性食品の製造方法	特開 2021-94017	R3.06.24	共同出願

1-7-3 令和3年度までの特許総数等

(令和4年3月31日現在)

項目	件数	内訳
保有特許等	116 件	国内特許 58 件、実用新案 2 件、意匠 10 件、国際特許 46 件
出願特許	8 件	国内特許 3 件、実用新案 1 件、意匠 3 件、国際特許 1 件
実施許諾契約	54 件	-

1-8 視察・見学等 (16件)

化学繊維研究所 (5件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(国研)産業技術総合研究所九州センター	R3.04.21	2
(社)福岡県機械金属工業連合会	R3.04.26	4
(株)久留米リサーチ・パーク	R3.06.10	1
(公財)福岡県中小企業振興センター	R3.06.25	1
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	R3.10.15	2

生物食品研究所 (2件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(公財)福岡県中小企業振興センター 農産物直売所・道の駅に出荷する事業者の経営力向上セミナー参加者	R3.11.24	30
柳川市商工会青色申告会	R3.11.29	16

インテリア研究所 (6件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(一財)九州オープンイノベーションセンター	R3.04.09	1
(国研)産業技術総合研究所九州センター	R3.04.16	3
(株)TCK	R3.10.04	2
大川市議会	R3.10.08	5
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	R3.10.19	2
奈良県森林技術センター	R4.03.08	2

機械電子研究所 (3件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(公財)飯塚研究開発機構	R3.11.26	15
長崎県産業労働部新産業創造課	R3.12.07	2
福岡県商工部自動車産業振興室	R4.02.08	3

1-9 研究課題評価委員会

○開催概要

令和3年度研究実施結果に係る中間・事後評価

日時：令和3年5月31日(月) 10:25~15:40

場所：工業技術センター 研修室

対象：令和2年度実施研究課題 事後評価 6課題 中間評価 3課題

○委員

氏名(敬称略)	所 属
<input checked="" type="radio"/> 寺島 祐二	(株)久留米リサーチ・パーク テクニカルコーディネーター
<input checked="" type="radio"/> 仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネーター
<input checked="" type="radio"/> 野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
<input type="checkbox"/> 藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 イノベーションセンター 産学連携担当部長
<input type="checkbox"/> 平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所九州センター 所長
<input type="checkbox"/> 古川 勝彦	(国大)九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
<input type="checkbox"/> 森 直樹	(国大)九州工業大学 大学院工学研究員 機械知能工学研究系 教授

(五十音順) [○]:現地出席委員、[□]:WEB出席委員

○開催概要

令和4年度研究計画に係る事前評価

日時：令和3年9月21日(火) 10:15~14:30

場所：工業技術センター 研修室

対象：令和4年度実施研究課題 事前評価 5課題

○委員

氏名(敬称略)	所 属
<input type="checkbox"/> 寺島 祐二	(株)久留米リサーチ・パーク テクニカルコーディネーター
<input type="checkbox"/> 仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネーター
<input checked="" type="radio"/> 野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
<input type="checkbox"/> 藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 イノベーションセンター 産学連携担当部長
<input type="checkbox"/> 平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所九州センター 所長
<input type="checkbox"/> 古川 勝彦	(国大)九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
<input checked="" type="radio"/> 森 直樹	(国大)九州工業大学 大学院工学研究員 機械知能工学研究系 教授

(五十音順) [○]:現地出席委員、[□]:WEB出席委員

1-10 受賞・表彰・学位取得（12件）

内 容	対 象 者	月 日	備 考
工業技術センター職員表彰	(株)久留米リサーチ・パーク 日下 芳友	R3.09.13	表彰テーマ:あまおう由来乳酸菌の分離と製品化支援
	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 上田 京子		
	食品課 川口 友彰		
工業技術センター職員表彰	化学課 田中 大策	R3.09.13	表彰テーマ:低温環境下における高圧水素をシールする長寿命ゴムの開発
	研究企画課 浦川 稔寛		
	福岡県庁商工部 内山 直行		
	化学課 木村 太郎		
	化学課 野見山 加寿子		
(公財)日本セラミックス協会 令和3年度セラミックス貢献賞	化学課 阪本 尚孝	R3.10.08	教育・試験部門
日本防菌防黴学会 第48回年次大会 ポスター賞	食品課 塚谷 忠之(※)	R3.12.15	表彰テーマ:試験片固定具を用いたバイオフィルム形成能測定法の開発
令和3年度九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー ポスター展示 最優秀ポスター賞	食品課 塚谷 忠之	R4.02.01	表彰テーマ:試験片用バイオフィルム形成能測定キットの開発
令和3年度九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー 合同成果発表会 優秀発表賞	電子技術課 田中 雅敏	R4.02.01	表彰テーマ:多機能ソーラーLEDライトの開発
福岡県職場改善運動 チームワーク賞	材料技術課 古賀 弘毅	R4.02.09	表彰テーマ:コロナ禍における安心安全のための来客対応方法の確立
	材料技術課 古賀 義人		
	材料技術課 中野 賢三		
	材料技術課 吉田 智博		
	材料技術課 猪口 真規		
福岡県職域表彰	材料技術課 古賀 弘毅	R4.02.09	表彰テーマ:コロナ禍に対応したフルオーダーメイド個別実習型セミナーによる企業技術者人材育成
	材料技術課 古賀 義人		
	材料技術課 中野 賢三		
	材料技術課 吉田 智博		
	材料技術課 猪口 真規		
	機械技術課 内野 正和		
	機械技術課 山田 圭一		
	機械技術課 村田 顕彦		
	生産技術課 山田 泰希		
	(公財)飯塚研究開発機構 竹下 朋春		
	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 周善寺 清隆		
福岡県職員表彰 研究表彰	材料技術課 小川 俊文	R4.02.17	表彰テーマ:耐屈曲性に優れた極細アルミニウム合金製電線ケーブルの開発
福岡県職員表彰 研究表彰	食品課 大場 孝宏	R4.02.17	表彰テーマ:福岡県オリジナル吟醸酒・純米酒の開発
	情報交流課 片山 真之		
	食品課 末永 光		
福岡県職員表彰 秀抜表彰	食品課 堺 早恵子	R4.02.17	表彰テーマ:福岡県オリジナル吟醸酒・純米酒の開発
全国食品関係試験研究場所長 会 優良研究・指導業績表彰	食品課 川口 友彰	R4.03.04	表彰テーマ:機能性を特長とする食品・化粧品の開発支援技術の確立

(※)主受賞者は外部機関です

1-11 職員派遣研修 (13件)

企画管理部 (2件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
知的財産実務者 育成セミナー	福岡県知的所有権センター	R3.07.14-11.04 (7日間)	古賀 賢一
知的財産研修(初級)	(独)工業所有権情報・研修館	R3.11.09-11.10	浦川 稔寛

化学繊維研究所 (3件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
クレームゼロへの具体的アプローチ～品質保証体制の見直し+検査の見逃しゼロ+不良ゼロで実現するコストミニマムなクレーム対策～	TH 企画セミナーセンター(連合会館) Web 研修	R3.08.05-08.06	木村 太郎
第273回ゴム技術シンポジウム ゴム練りの基礎から実践へ V ーフィルター分散と合目的な練りー	(一社)日本ゴム協会 ゴム練り研究分科会 Web 研修	R3.10.12	中西 太郎
テキスタイルカレッジ「繊維製品の品質管理と品質保証」	日本繊維機械学会 Web 研修	R4.03.03	藤富 由紀

生物食品研究所 (3件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
品質管理入門コース	(一財)日本食品検査	R4.02.08	田崎 麻理奈
分かりやすい技術文書の基本と作成のコツ	(株)テックデザイン Web 研修	R4.02.10	坂田 文彦
微生物検査 基礎・判定研修コース(2日間)	(一財)日本食品検査	R4.03.09-03.10	黒田 理恵子 片山 秀樹

インテリア研究所 (1件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
第44回「木材の実用知識」講習会	(公財)日本木材加工技術協会 Web 研修	R4.03.03	岡村 博幸

機械電子研究所 (4件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
スパッタリング薄膜の基礎とプロセス改善、トラブル対策	(株)情報機構(オンライン)	R3.09.01	吉田 智博
公設試験研究機関研究職員研修	中小企業大学校東京校	R3.11.09-11.12	島崎 良
産業用ロボットの教示等特別教育+ハンドリング1日コース	(株)安川電機	R3.11.17-11.19	島崎 良
産業用ロボットの検査等特別教育	(株)安川電機	R4.03.14-03.15	島田 雅博 菊竹 孝文